

LEO 編入試験対策

LEO 編入試験対策授業の紹介です。6月に帰国し、中学や高校の編入試験受験をお考えの人が多数いらっしゃると思います。LEOでは、毎年、ご帰国から受験直前まで、受験校に合わせた授業を行っています。

ご存じのように、編入試験(一部は、9月入学試験)は、6月下旬から7月中旬にかけて実施されます。この期間に集中して行われるため、一部の人気校は試験日が重なってしまうこともあります。よって、受験校の選択や、出願期間などに注意が必要です。

こんなスケジュールですから、皆さんが帰国なさってから試験までの準備期間はごくわずかです。LEOでは、毎年、短い期間に効果的、効率的な授業を、基本的には個人指導の形でオファーしています。受験校に合わせて短期間で成果が出る授業を行います。

LEOの主な対象校をご紹介します。まずは中学校。東京学芸大附属国際中等教育学校、成蹊、広尾学園、桐朋女子、啓明学園などです(他に、大妻中野、実践女子、

文化学園杉並などは、随時募集となります)。学芸大付属国際中等な、英語と日本語の作文が必要となります。前回の「塾長通信」では、この学校の入試問題を特集しましたが、編入試験もまったく同じスタイルでの試験となります。

例年、日本語作文の方は、それほど難しいピックではありません。英語の方は、入試同様に、年度によっては難解なトピックが課されることがあります。LEOでは、過去問題を中心に、一部、予想問題を含めて練習いたします。桐朋女子・啓明学園も作文が課されます。

成蹊中学の試験は、国・算・英で中学入試と同じ形です。国・算は、小6範囲からの出題となります。LEOでは、毎年、成蹊中学受験生がいますので、この編入

試験にも十分対応いたします。

次に高校の対象校です。こちら、東京学芸大附属国際中等教育学校が入ります。実は、LEOではこの試験で学芸大附属に編入した生徒が多いのです。続いて、都立国際高校です。こちらは、英語か日本語の作文となります。ICU高校は書類選考ですので、筆記の準備はいりません。LEOの受講生には、ICU用の面接練習を行っています。その他は、桐朋女子、啓明学園、広尾学園といったところになります。

以上の編入試験を受験予定の方は、是非、LEOをご利用ください。今年で、LEOは24年目を迎えます。経験豊かなスタッフが、みなさん一人一人に合った授業を行い、合格へと導きます。

帰国子女大学受験コース

現地校 or インターナショナル校出身者用

LEOでは、6/23から「帰国子女大学受験コースⅠ期」を開設いたします。

現地校 or インターナショナル校を卒業して帰国した人、または、一時帰国生(高2)を対象としたコースになります。9月から始まる大学の帰国生入試受験に備える授業をオファーしています。

LEOの主な受験対象校は次の通りです。

早稲田大学(帰国・グローバル・AO)、ICU(4月帰国)、上智大学(海外就学者)、青山学院大学(海外就学経験・自己推薦)、明治大学(海外就学・グローバル・自己推薦)、立教大学(帰国・自由選抜・国際選抜・GLAP)、学習院大学(帰

国・AO)、津田塾大学(帰国)などです。

定員6名の少数クラスで、小論文、国語、社説要約・語彙の日本語クラスと、英語エッセイ、英語長文・語彙、英文和訳の英語クラスをオファーします。

受講ご希望の方は、早めにお問い合わせください。早期申込者の特典も用意しています。当コース受講生は、「大学受験コースⅡ期」を内部生料金にて受講可能です(割引料金)。

当コース受講生には、受験相談、志望理由書作成補助・



面接練習を無料で行います。

なお、今回一時帰国の人で、ある特定の教科だけを短期間受講したい人はお知らせください。ご希望に沿った勉強スケジュールを作成し、授業可能です。

ymas@leo21.net

0422-70-5205 まで

180-0005

武蔵野市御殿山 1-6-1

吉祥寺サンプラザ 305

0422-70-5205

ymas@leo21.net

